

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校6年理科 解答及び配点一覧 No. 1

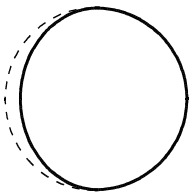
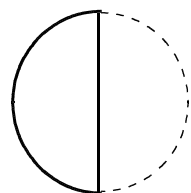
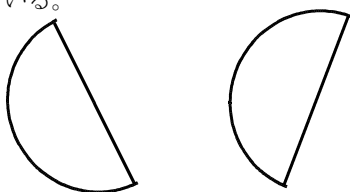
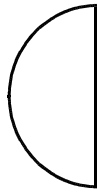
※解答例であり，同意であれば可

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点												
1	(1)		①	技能			㉒	4												
	(2)		②	思考表現			○ふれはば以外の条件を同じにしなければならないことを書いている。 ・ふれはばの違いを調べるのであれば、糸の長さとおもりの重さの条件は同じにしなければならないから。	4												
	(3)		③	思考表現	<table><tr><th>基準</th><th>採点内容</th><th>配点</th><th>解答状況</th></tr><tr><td>基準①</td><td>使ったふりこ</td><td>1</td><td>㉓</td></tr><tr><td>基準②</td><td>㉓のふりこがふさわしくないところ</td><td>3</td><td>○㉓のふりこがふさわしくない理由を書いている。</td></tr></table>			基準	採点内容	配点	解答状況	基準①	使ったふりこ	1	㉓	基準②	㉓のふりこがふさわしくないところ	3	○㉓のふりこがふさわしくない理由を書いている。	
	基準	採点内容	配点	解答状況																
	基準①	使ったふりこ	1	㉓																
	基準②	㉓のふりこがふさわしくないところ	3	○㉓のふりこがふさわしくない理由を書いている。																
				<p>≪配点例1≫ ・㉓ 無解答 基準①1点 基準②0点</p> <p>≪配点例2≫ ・㉓ ちがうふりこを選んだから。 基準①1点 基準②0点</p> <p>≪配点例3≫ ・無解答 おもりを縦につないでふりこの長さまで変わっているから。 基準①0点 基準②3点</p>	<table><tr><td>1</td><td rowspan="3">≪配点例≫ ・㉓ おもりを縦につないでふりこの長さまで変わっているから。 基準①1点 基準②3点</td></tr><tr><td>1</td></tr><tr><td>3</td></tr></table>	1	≪配点例≫ ・㉓ おもりを縦につないでふりこの長さまで変わっているから。 基準①1点 基準②3点	1	3	4										
1	≪配点例≫ ・㉓ おもりを縦につないでふりこの長さまで変わっているから。 基準①1点 基準②3点																			
1																				
3																				
(4)		④	技能	○1問正答ごとに1点。	<table><tr><td>3</td></tr><tr><td>2</td></tr><tr><td>1</td></tr></table>	3	2	1	○4つとも正答を書いている。 ・33.9 ・11.3（0を書いて消していても可） ・1.1（3を書いて消していても可） ・おもりの重さと関係ない。	4										
3																				
2																				
1																				
(5)		⑤	知識理解			糸の長さ （ふりこの長さも可）	4													
(6)		⑥	思考表現			○㉔のふりこと比べて「糸の長さ」だけが異なるふりこの条件を選んでいる。 ・ふれはば 20° ・糸の長さ 20cm ・おもりの重さ 10g	4													

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校6年理科 解答及び配点一覧 No.2

※解答例であり、同意であれば可

大問	中間	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点											
2 28点	(1)	ア	⑦	技能	<table><tr><th>基準</th><th>採点内容</th><th>配点</th><th>解答状況</th></tr><tr><td>基準①</td><td>日光とでんぷん（養分）</td><td>2</td><td>○日光が当たることのでんぷん（養分）ができること。</td></tr><tr><td>基準②</td><td>でんぷんができる場所</td><td>2</td><td>○葉にでんぷん（養分）ができること。</td></tr></table>	基準	採点内容	配点	解答状況	基準①	日光とでんぷん（養分）	2	○日光が当たることのでんぷん（養分）ができること。	基準②	でんぷんができる場所	2	○葉にでんぷん（養分）ができること。		
					基準	採点内容	配点	解答状況											
					基準①	日光とでんぷん（養分）	2	○日光が当たることのでんぷん（養分）ができること。											
					基準②	でんぷんができる場所	2	○葉にでんぷん（養分）ができること。											
	<table><tr><td>≪配点例1≫ ・日光が当たるとでんぷん（養分）ができるかどうか。 基準①2点 基準②0点</td><td>2</td><td>≪配点例≫ ・植物（インゲンマメ）の葉に日光が当たると、葉にでんぷん（養分）ができるかどうか。 基準①2点 基準②2点</td><td>4</td></tr><tr><td>≪配点例2≫ ・葉にでんぷん（養分）ができるかどうか。 基準①0点 基準②2点</td><td>2</td><td></td><td></td></tr></table>	≪配点例1≫ ・日光が当たるとでんぷん（養分）ができるかどうか。 基準①2点 基準②0点	2	≪配点例≫ ・植物（インゲンマメ）の葉に日光が当たると、葉にでんぷん（養分）ができるかどうか。 基準①2点 基準②2点	4	≪配点例2≫ ・葉にでんぷん（養分）ができるかどうか。 基準①0点 基準②2点	2												
	≪配点例1≫ ・日光が当たるとでんぷん（養分）ができるかどうか。 基準①2点 基準②0点	2	≪配点例≫ ・植物（インゲンマメ）の葉に日光が当たると、葉にでんぷん（養分）ができるかどうか。 基準①2点 基準②2点	4															
	≪配点例2≫ ・葉にでんぷん（養分）ができるかどうか。 基準①0点 基準②2点	2																	
	イ	⑧	知識理解	○3つのうち、1つ正答は2点、2つ正答は3点 ・1つ正答 ・2つ正答	2 3	○3つとも正答 変化した葉・・・㊦ 変化した色・・・青むらさき（色） 何ができたのか・・・でんぷん	4												
	ウ	⑨	思考表現	○記号のみ正答1点 記号・・・B ○理由は以下の基準で配点する。 基準①・・・南側にあるから。 基準②・・・日光がよく当たるから。	1 1 2	記号・・・B 理由・・・南側にあつて、日光がよく当たるから。	4												
	(2)	ア	⑩	知識理解	○1つの正答で2点	2	○ホウセンカA・Bともに正答 ホウセンカA ・ふくろの内側にたくさん水てき（水）がついていた。 ・ふくろの内側がくもっていた。 ホウセンカB ・ふくろの内側にあまり水てき（水）がついていなかった。 ・ほとんど変化がなかった。	4											
イ	⑪	思考表現	○以下の基準で配点する。 基準①・・・水は根からとり入れられる。 基準②・・・水はくきや葉までいきわたる。	2 2	・根からとり入れた水は、くきや葉など植物の体のすみずみまでいきわたる。	4													
ウ	⑫	知識理解	○1つ正答 ○2つ正答	2 3	○3つとも正答 ・小さなあな または 気こう ・水蒸気 ・蒸散	4													
(3)		⑬	関心意欲態度	○以下の内容のうち、1つ書かれている。 ・日光がよく当たるところに植える。 ・水をあたえる。	2	・ジャガイモやホウセンカを、日光がよく当たるところに植えて、水を与えて育てる。	4												

大問	中問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
3	(1)	ア	⑭	技能			㊦	4
		イ	⑮	思考表現	○1つだけ正答である。	2	○2つとも正答である。 ㊥  ㊦  ※陰の部分黒く塗っていても可。	4
		ウ	⑯	知識理解	○電灯（光が当たる）だけ正答である。 ○位置関係だけ正答である。	3 1	○2つとも正答である。 ・電灯（光が当たる） ・位置関係	4
	(2)	ア	⑰	知識理解	○1つだけ正答である。	2	○2つとも正答である。 ・半月 ・満月	4
		イ	⑱	技能	○次のような月を描いているが，少し傾いている。 	3	○次のような月を描いている。 	4
		ウ	⑲	思考表現	○1つ正答ごとに1点。上から2番目と5番目の組み合わせが正答だった場合は，プラス1点。 ・1つだけ正答 ・2つ正答(2番目と4番目，4番目と5番目) ・2つ正答(2番目と5番目) ※誤答(1番目，3番目)1つごとに2点減点。	1 2 3	○正答だけをすべて選んでいる。 () (○) () (○) (○)	4

【授業改善の視点】

月が日によって形が変わって見えることや，日によって見える時間帯が変わっていくことを，児童は生活経験の中で知っていることが多いものの，そのことを意識したり，科学的に考えたりしていることは少ない。

そこで，いつも月の輝いている側に太陽があり，その月と太陽の位置関係が月の見え方に関わっていることを実感させることが必要になってくる。つまり，実際の観察とモデル実験での結果をうまく関連させて推論させることが重要である。

そのために，モデル実験でビデオカメラ等を活用し，実際の月の見え方を映像で映し出ししながら，月と太陽の位置関係を同時に確認させる等の工夫を行いたい。

また，学習後にもう一度継続観察するなど，学習したことを再確認する機会を設けたい。

